

【さいと】

「彩」はかがやき、「都」は都市の意。人がかがやき、まちがかがやき、都市が彩られていく。そんな都市・福岡のイメージを表す。

- 01 特集「福岡の路地裏～裏通りを歩いて知る、まちの本当の魅力～」
- 07 第22回 福岡市都市景観受賞作品
- 11 第12回 福岡市景観エッセー
- 13 都市景観室事業・編集後記

特集

福岡の路地裏

～裏通りを歩いて知る、まちの本当の魅力～

いつも歩き慣れた家のそばの裏道で、

今まで通ることのなかった小さな路地で、

あなただけの宝物を見つけてみませんか？

裏通りをゆったりと歩いて気づくのは、

そのまちだけが持つ輝きがあるということ。

自然のきらめきがとても似合うまち、

人のやさしさと親しみにあふれたまち。

福岡の路地裏には、まだあなたの知らない

魅力的な景観が隠れているかもしれません。

〈南区〉平和の夜明け

先が見えないほど長い坂の向こうは、すでに夜明けを迎えた様子。
次第に明るくなる空に従い、坂道は少しずつ姿を現していく。

その路地裏たちは、いつも緑の光であふれている。
あふれる緑の光が映し出すのは、穏やかなまちの表情。
そのやさしさが一つひとつの風景を特別なものにします。



〈東区〉香椎宮の橋の下

香椎宮の緑で覆われた路地は、神様がこっそりと歩いていそうな雰囲気。



〈南区〉木々のフレーム

木に囲まれた丘の上の道では、まちの景色が自然のフレームで飾られる。



〈城南区〉緑の遊び場

とある保育園。花、草、木、野菜。
子どもたちはいつでも緑の中にいる。

